



第7代支部長 千葉 和子
(平成9年～平成11年)











第8代支部長 山下 恵子
(平成12年～平成17年)

宮城県看護協会は伊藤治子会長の時代。保健師の先輩だったこともあり推されるままに連盟宮城県支部長に就任したのは平成12年7月1日だった。国民の一人としての政治への関与は当然だった私にとって、退任の平成18年6月までの6年間、県看護協会はじめ看護職（特に保健師職能）の連盟嫌いは本当に悲しい思いが多かった。

就任早々全国支部長会議に初参加の席上では、本部の重鎮故大森ふみ子氏から、「宮城さん！ねっ！」と吐き捨てるように言われ、やがて、宮城県が毎年の本部決定の目標を達成できず、東北6県支部の他県支部から目標会員数や納入すべき会費などの連帯責任による支援を頂いていたこと、当然のことながら日本看護連盟への大きな負担になっていたことが判明慄然とする。その日から寝食を忘れ火の玉となった私は、まず、ダントツ最下位を示す連盟会員数確保に様々な工夫を試みた。その一例が別紙の入会を勧めるチラシ作戦であり、県内の病医院施設訪問拒否をものともせず愛車を走らせる日々が続いた。

大方の看護部長は面従腹背で会員数確保につながらない状態のままの、平成13年7月第20回清水選挙を迎えたが後援会など看護職以外の応援も受け役員の決死の活動により当選に一役を果たす。本県連盟会員1200人、得票数2008票（全国得票数174,517票）、連盟会員に対する得票率が高位だったため全国からの注目度が一期に高まり、前協会長齋田トキ子氏からあたたかいねぎらいの電話をいただく等状況変容に繋がった。また、それまでの連盟「支部だより」をリニューアル発刊し（第51号からは「RENMEI みやぎ」と衣替え）配信してきた。さらに、看護職以外の方々による後援会づくりは看護職の賛助会員もままならない状況下では重要なため併行してすすめる一方で、平成14年度からは、新春セミナー（後に新春政経セミナー）を通し実行委員会の独創的企画で、中央とのパイプを強化、看護職同志、宮城県関係国会県市議会議員交流の機会を広げてきた。

平成16年7月の第21回南野選挙からは、連盟宮城の支部活動展開による多彩な戦術を駆使し戦い当選！一助を果たし会員数も全国40位まで何とか増やす事が出来た。連盟会員数1,620人、得票数1,825人（全国得票数152,865票）その数倍にも及ぶ後援会名簿が集まっていた。

振り返ってみると就任の平成12年は、介護保険制度がスタートした年。連盟宮城県支部が宮城県看護連盟と名称変更になった17年は楽天がホームグラウンドを仙台に定め野球ファンを大いに沸かせた年！そして、理不尽な事情により退任することとなった平成18年は、改正介護保険法による地域包括ケアへの幕開けの年だった。また、平成24年度目前の1月21日開催ご招待をいただいた県連盟創立50周年記念の日は、団塊の世代が高齢者人口に加わるために、さらに見直し介護保険法により地域に根差した看護職の参入が待たれる年でもある。在宅サービスにおいてはサービス範囲拡大と介護と医療の連携が必須であり看護職一人一人の専門性が問われる年！先日の坂本協会長の講演内容に「これからの看護の在り方」その1～、国民のニーズに応える～を実現した新たな福祉分野へのリーダーシップに大いに期待し、さらなる宮城県看護連盟活動の展開にエールを送り続けたい！



声をかけ合い力を合わせて 日本看護連盟宮城県支部会員になりましょう、

1 看護連盟のなりたち

看護協会は公益法人であるため政治活動を行うことができません。しかし看護職の専門職団体として、看護の質向上や労働条件の改善のために政治活動をしなくてはなりません。そこで看護協会の先輩たちは、看護のためにしっかりと政治活動ができるよう政治団体である日本看護連盟をつくりました。

2 宮城県支部とは

日本看護連盟には全国の都道府県に支部があります。連盟の宮城県支部は宮城県看護協会と一体となり、宮城の看護のための政治活動を行っています。しかし、残念なことに、宮城県看護協会の会員のわずか13.7%（平成14年3月末現在）しか、連盟の会員になっていません。みなさんご存知でしたか、13.7%の加入率は、全国最下位なのです。

3 宮城県看護協会会員として（最下位から脱出しましょう!!）

ご存知の通り、医療や福祉の制度はだんだん厳しくなっています。看護職員の不足がこのままでは看護の質も下がり患者さんにとっても不幸です。いまこそ私たちが声を上げて、私たちの力で法律をつくっていく必要があります。そのためにどうしても看護連盟の力が不可欠なのです。

今年、看護連盟の力を確かなものにする第一歩として、宮城県看護協会と日本看護連盟宮城県支部は、喫緊の行動目標として、全国最下位の汚名を挽回し、まずは全国平均である36%の加入率を目指すことにしました。

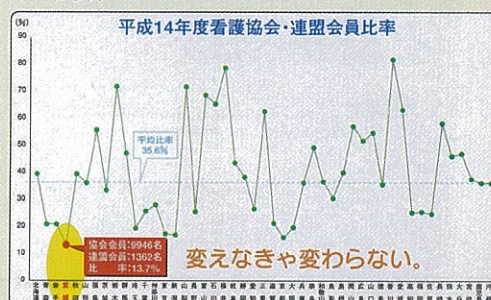
4 日本看護連盟宮城県支部の活動

- ①看護管理者研修
- ②新入会者研修
- ③連盟支部研修会
- ④中央研修伝達ブロック研修会ほか
- ⑤代表国会議員を囲む会（新春のつどい、囲む会、励ます会など）
- ⑥県会議員との懇談会、県看護協会との懇談会開催
- ⑦国会見学
- ⑧連盟通信支部たよりの発行



5 キーポイント宮城の看護

宮城県の看護は、以前から日本全体の中でも先駆的な活動をしてきたことで有名です。最近は訪問看護活動や職業学級での看護など、全国一歩の取り組みをしています。その活動の基盤となる連盟入会が宮城のキーポイントになっています。



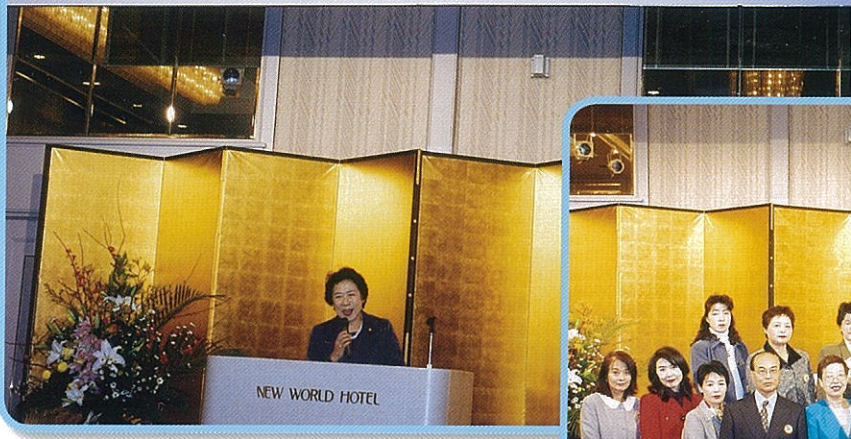
平成13年度日本看護連盟宮城県支部研修会

日本看護連盟宮城県





第1回 マーガレットの会
記念講演会 並びに 設立総会



「温暖化問題とわたし達」